

2009年度

科目名	国語学概論		
担当教員	宇都宮 啓吾		
配当	文財1	コード	31270
開期	前期	講時	水曜日1限
		単位数	2
授業テーマ	文献文化財を考える上での基礎的知識を身につける		
目的と概要	文化財学科専門の科目として、文献文化財について分析する際に必要な国語学的知識の習得を目標とします。		
成績評価法	テストと平常点(全講義数の2/3以上は出席すること)で総合的に評価します。		
テキスト	梵字入門－仏教美術考古学研究者のための－(綜芸舎編集部 綜芸舎)		
参考書	特に指定しません。適宜、紹介します。		
履修に 当たっての 注意・助言			
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション(講義計画・評価方法の説明) 2 国語学の意義(文献文化財研究への国語学の応用とは) 3 文字・表記の諸問題①(奈良時代以前の表記) 4 文字・表記の諸問題①(平仮名・片仮名の成立) 5 文字・表記の諸問題①(平仮名・片仮名の成立) 6 文字・表記の諸問題①(片仮名字体の史的変遷) 7 文字・表記の諸問題②(古写本の分析の視点:字体・書風による分析) 8 文字・表記の諸問題②(古写本の分析の視点:奥書・訓点の活用) 9 文字・表記の諸問題②(古写本の分析の視点:奥書・訓点の活用) 10 文字・表記の諸問題③(梵字の基礎:梵字実習) 11 文字・表記の諸問題③(梵字の基礎:梵字実習) 12 文字・表記の諸問題③(梵字の基礎:梵字実習) 13 文字・表記の諸問題③(梵字の基礎:梵字実習) 14 文字・表記の諸問題③(梵字の基礎:梵字実習) 15 本講義の総括 			